

地区福祉推進会議の結果（概要）

【協議内容】

- ・ 校区社会福祉協議会アンケート調査結果について
- ・ 第5期地域福祉計画策定について

地区	開催日	主な意見等（抜粋）
中央	令和2年7月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これからは「地域共生社会」という言葉で、地域づくりのことを話していくこととなる。色んなところで「地域共生社会」という言葉が出てくる。</li> <li>・ 市の上位計画である総合計画も、令和3年度までなので、次の総合計画の福祉の部分について、地区会議から、こうしてほしいという声を出していければよい。</li> <li>・ 総合計画、地域福祉計画推進委員会、各地区福祉推進会議で情報共有を図る必要がある。</li> <li>・ コロナの影響があり、今後の地域の福祉活動は、今までとやり方を変える必要がある。</li> </ul>
谷山	令和2年7月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニティ協議会が、もっと地域福祉の面に力を入れてくれると、校区社協の負担がなくなり全体の意識が高まるのではないかな。</li> <li>・ 市の様々な地域の活動や支援策と第4期の進捗を照らし合わせ総括をすることで、第5期の5年間にどんな課題があるのか整理できるのではないかな。</li> <li>・ 谷山地域は他地域よりも、0歳から14歳まで若年者を含む世帯が3割と多く、子育て支援体制の構築は重要であり、福祉館や子育てサロン、「たにっこりん」の活動状況のデータを地域福祉計画推進委員会に提供することで第5期の策定に活かせるのではないかな。</li> </ul>
伊敷	令和2年7月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まちづくり協議会と校区社協が、もっとコミュニケーションをとりながらやっていかなければいけない。</li> <li>・ 校区社協の中にコミュニティ協議会のメンバーも入っているので、各団体との関係は密にとれている。どの団体が何を実施というのではなく、地区全体で活動できればいい。</li> <li>・ 国が進める包括的支援体制について、鹿児島市は、市民や民生委員等に浸透している市民相談センターを充実する方がいいのではないかな。</li> </ul>
吉野	令和2年7月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後実施予定の市民アンケートは、高齢者、障害者、子育て世代など、多世代の意見を参考にした方が、計画策定に役立つのでは。</li> </ul>
桜島	令和2年7月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 包括的支援体制については、現状、民生委員と行政が連携して行っているのではないかな。</li> </ul>
吉田	令和2年7月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 吉田地区内でも、例えば、牟礼岡校区と吉田校区では環境が違うので、そこをどうまとめていくか難しいところ。</li> <li>・ 今後は、コロナ対策をしながら福祉を推進しなければならない。</li> </ul>
喜入	令和2年7月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域福祉館の類似施設として、校区公民館・集落公民館などを良く利用しており、校区公民館の利便性向上の要望等を次回会議で検討したい。</li> <li>・ 取組を推進する体制については、現時点では不十分な状態なので、次期計画にも計上すべき。</li> <li>・ 小地域ネットワークづくりについて、小地域（集落）自体が高齢化で縮小や解散の声もあり、連携以前の課題がある。</li> </ul>
松元	令和2年7月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校区社協アンケート調査結果で、「他校区社協の活動事例を知りたい」という意見が出ているが、校区社協の担当者レベルの会議を開催し、情報交換して、こういう場で情報提供すべき。</li> <li>・ 地域福祉計画は、校区社協より、まちづくり協議会が母体となった方が、各種事業が進めやすいと思う。</li> <li>・ 校区社協、まちづくり協議会の役員、民生委員は、同じ人が就いていることが多い。町内会、地域リーダー育成など合同で協議すれば、地区全体の方向性が出てくる。</li> </ul>
郡山	令和2年7月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校区コミュニティ協議会も出来たので、自治会の実態なども整理して次の計画を議論するべきではないかな。</li> <li>・ 次期計画では、1人暮らしや老老介護をどうするかということが大きなポイントではないかな。</li> <li>・ 障害を持つ方が増えているので、障害者団体の設立について、計画に組み込んでいければ良いのではないかな。</li> <li>・ 女性の意見をどのように反映させていくかということも、次期計画に盛り込んでいく必要がある。</li> <li>・ 見守りもIT化できるので、そのようなアイデアもみんなで共有して、郡山らしい計画にすればよいのではないかな。</li> </ul>

【参考】各地区の人口、世帯数、高齢化率の状況（住民基本台帳人口より）

地区	人口（人）			世帯数（世帯）			高齢化率（％）		
	H29. 4. 1	R2. 4. 1	増減	H29. 4. 1	R2. 4. 1	増減	H29. 4. 1	R2. 4. 1	増減
中央	291,362	289,145	▲ 2,217	151,442	153,456	2,014	25.2	26.7	1.5
谷山	161,879	161,919	40	71,815	73,783	1,968	21.5	23.8	2.3
伊敷	52,014	50,188	▲ 1,826	24,241	23,947	▲ 294	29.7	32.4	2.7
吉野	49,023	50,164	1,141	21,988	22,933	945	28.4	29.2	0.8
桜島	4,469	4,030	▲ 439	2,426	2,287	▲ 139	45.9	49.0	3.1
吉田	10,791	10,326	▲ 465	5,116	5,204	88	31.7	36.3	4.6
喜入	11,497	11,009	▲ 488	5,376	5,297	▲ 79	34.6	37.2	2.6
松元	16,277	17,012	735	6,466	6,851	385	21.8	22.5	0.7
郡山	7,479	7,097	▲ 382	3,582	3,532	▲ 50	35.9	39.7	3.8
市全体	604,791	600,890	▲ 3,901	292,452	297,290	4,838	25.3	27.2	1.9